

## 令和2年度通常総会開催

6月16日(火) ホテルキャッスル



井上理事長挨拶

### 挨拶内容・事業計画について

#### 1 総会の縮小

本来であれば、来賓の方をお招きして祝辞をいただくことや、総会終了後には賑やかに祝賀会を催しているのが通例であるが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために会議を縮小し、祝賀会は中止にせざるを得ないことになった。

関係者の方々ご理解のほどお願いしたい。

#### 2 組合員に感謝

4月25日から5月10日までの年度を跨ぐ県からの休業要請に伴い、組合員の経済的打撃は、資金力が乏しく経営体力の脆弱な中小企業にとって休業・廃業等、最悪の経営環境が続いている。

このような劣悪な環境の中、組合員の皆様には休業要請に全ホールが守り真摯な対応をしていただいたことに心から感謝申し上げます。

営業再開へ向けては、県に対して5月1日全国に先駆けて要望書を提出し、3密の回避、営業時間の短縮、パチンコ遊技の特殊性(クラスターの発生が無い)ほか、特に経営の危機的状況を説明した。

また、県に営業時間を午後8時までにと強く要請されたが、組合の代表として組合員に守れないルールをつくるのではなく、守れるルールを示すことが重要であることを担当者強く要請し、午後10時までとするに至った。

これは、組合員ホールが一丸となって県の休業要請を真摯に対応したことが、県の理解を得た証左であると確信している。

#### 3 本年度の基本方針及び新型コロナウイルス感染症対策

パチンコ・パチスロ依存問題への対応、ファンの回復・拡大、安定したホール経営の確立、積極的な社会貢献活動を基本方針とする。

また、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、お客様に安全で安心な遊技環境を提供することが重要である。

#### 4 一致団結

私たちは、組合を中心に組合員の相互扶助の精神のもと、力を合わせて再びコロナによって休業に至らないよう、経験したことを絶対忘れずに日々コロナの予防策に万全を期して、この難局を乗り越えていかなければならない。



開会のことば 金村副理事長

「不撓不屈の精神でこの難局を乗り越えよう」、と力強い挨拶をされ、出席者全員が身の引き締まる思いであった。

#### 総会成立報告

大村理事

総会成立を厳粛な中に報告された。



議長

増井副理事長

執行部から令和元年度の事業報告・収支決算並びに令和2年度事業計画・収支予算等が上程され、いずれも可決された。

#### 役員改選(再任・新任)

井上理事長(再) 金村副理事長(再) 増井副理事長(再) 金副理事長(再) 徳宮理事(再) 井上理事(新任) 熊谷代理(再) 関上代理(再) 李監事(再) 野口監事(再・欠席) 渡辺専務理事(再)



役員の皆様、2年間よろしくお願いたします。

# 令和2年度事業計画

## 山形県遊技業協同組合・山形県遊技業防犯協力会

### 1 概要

ホールを取り巻く厳しい現状に鑑み、ファンが手軽で快適に遊技が出来る環境を整備し、関係団体と共に協力し合いながら、身近で手軽な大衆娯楽の原点に立ち返る。積極的にファンの回復・拡大を推進する。

そのため、ホール業者が率先して「お客様あっての大衆娯楽である」という認識のもと、お客様に支持していただける環境に向けて、現状を変えていくという意識を持つことが必要である。

お客様の期待に沿える場を提供するためには、音量や光量に特に配慮しながら遊技環境の見直し、新基準機の導入等について進めるほか、運営コストの削減の面からも遊技機の低価格化を早急に遊技機メーカーと改善に向けた手立てを講じていく必要がある。

また、特に最重要課題として推進しているパチンコ・パチスロ遊技に関する依存問題を今年度も引き続き、強力で推進する。

パチンコ・パチスロ遊技が国民から親しまれ、幅広い客層から支持される大衆娯楽となるよう業界の健全な発展のため、総力を挙げて以下の事業に取り組む。

### 2 事業の基本方針・施策

- (1) パチンコ・パチスロ依存問題への対応  
業界団体と連携を図り、各種施策をより強力で推進する。
- (2) パチンコ・パチスロファンの回復・拡大  
手軽で快適に遊技が出来る遊技環境の提供を進め、ファンの回復・拡大を推進する。
- (3) 安定したホール経営の確立  
高コスト体質から脱却し、安定したホール経営を確立する。
- (4) 積極的な社会貢献活動  
地域社会との調和、共存を図り、意義ある社会貢献活動を積極的に推進する。

### 3 継続的重点推進事項

- (1) 依存問題に向けた諸施策の推進
- (2) 手軽で快適に遊技が出来る遊技環境の構築
- (3) 賞品等の取り扱いに関する諸問題への適切な対応
- (4) ホール駐車場等における子どもの事故根絶
- (5) 置き防止対策の推進
- (6) 適正納税の意識高揚と推進
- (7) 新規斡旋事業及び紹介事業の構築
- (8) ホールにおける消費税問題への適切な対応と実践
- (9) 遊技産業健全化推進機構の設立趣旨の徹底
- (10) 不正防止対策及びゴト対策の推進
- (11) 遊技機の販売方法に関する4団体合意「情報の共有化」の運用促進
- (12) 被災地の復興に向けた支援活動の推進
- (13) 遊技機リサイクルの責任自覚と具体的取組みの推進
- (14) 業界における障がい者雇用の促進

### 4 具体的な事業内容

- (1) 組織運営
  - ① 組織運営の充実、強化
    - 県遊協組織の効率的運営（置賜支部を県遊協事務所に移転）
    - 組合員への情報伝達の強化
  - ② 組合員との連帯強化
    - 組合員のニーズに合った施策
    - 組合活動への参画の徹底と意識の向上
  - ③ パチンコ・パチスロ依存問題対策
    - 安心パチンコ・パチスロアドバイザー講習会の開催及び活動の強化
  - ④ **新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底**
    - **お客様に安全安心な遊技環境を提供**
  - ⑤ 社会貢献活動の推進
    - 県遊協及び各支部による時代に即した新たな社会貢献活動の推進
  - ⑥ 広報活動の充実、強化
    - 東北6県ファン感・全国ファン感のみならず、

防犯活動や県遊協・各支部の社会貢献活動等、あらゆる機会を捉えた広報

- 県遊協ホームページ及び業界誌やインターネットを利用した県遊協の広報
- (2) 健全営業の推進
  - ① 遵法営業の徹底と企業の社会的責任に基づいたホール経営の推進
  - ② ぱちんこ営業における広告・宣伝等の適正化の徹底
- (3) 賞品等の取り扱いに関する諸問題への適切な対応
  - ① 業者の賞品買取関与の根絶
  - ② 市場価格に基づいた適切な賞品提供価格の徹底
  - ③ 賞品取り揃えの充実
  - ④ 総付景品等の提供に関するガイドラインの周知徹底
- (4) ホール駐車場等における子どもの事故根絶
  - ① 子どもの車内放置防止「強化期間」及び「特別強化期間」の周知徹底
  - ② 子どもの車内放置防止対策の強化
- (5) 置き防止対策の推進等である。

### 山形県遊技業暴力追放対策協議会

#### 重点推進事項

- 1 「不当要求防止責任者」制度の啓発と講習受講の促進
- 2 県遊協・県遊暴追協共催による「暴力追放各支部研修会」を例年通り1～2月に開催
- 3 各自治体及び山形県暴力追放運動推進センターとの連携を図り、それぞれ主催の暴追運動に参加して暴排意識を高揚
- 4 「暴力追放クリーン店」のパネルや「暴力団・暴力団関係者の店内立入禁止」のステッカー掲示
- 5 暴力追放3ない運動プラス1の「暴力団を恐れない」「暴力団を利用しない」「暴力団に金を出さない」「暴力団と交際しない」を実践
- 6 暴力追放各支部研修会では、警察行政講話「暴力団による不当要求行為対応要領」を受講、専務理事の「業界情勢」等の説明

### 山形県不正防止対策委員会

#### 活動計画

- 1 随時無通知による計画的な立入検査
- 2 必要の都度、研修会の開催

### 専務理事の部屋

組合員の皆様に感謝

令和2年度の通常総会は、出席者を組合員のみで縮小し、ソーシャルディスタンスを保ちながら開催しました。

井上理事長は、緊急事態宣言の発令後、長期間の休業要請を余儀なくされ、新型コロナによる命と健康を守ることの緊急性・重大性、と店舗の廃業、倒産、従業員の失業による生活苦等の経済活動が疲弊することを懸念し、この状況を打破するために新型コロナ対策と経済活動の再開の必要性について新聞・テレビ等のメディアを通じて県民に訴えたほか、県当局に対しても最後まで組合全体を俯瞰した対応を執り続けています。

この礎となったのは、全組合員ホールの皆様日々根気強く感染予防に取り組み、休業要請にも真摯に対応していただいた賜であります。ホール従業員の努力、労力にただただ感謝の気持ちでいっぱいです。今後新しい生活様式の中で、ホールがやらなければならないことは何も変わっていません。引き続き根気強くコロナ対策に万全を期していただきますようお願いいたします。